

18 期生／クラシカル(専門)コースの全体像

原典『オルガノン』を中心にして各学年に応じたクラシカルホメオパシー教育を行います。

1 年目は～オルガノン § 1～70 を目標とします。

ホメオパシーの基本理論全体と特に急性症状への対応について学びます。

2 年目は～オルガノン § 71～

ホメオパシーの基本を深めながら、特に慢性症状への対応について学びます。

3 年目は～オルガノン § 196～

比較的シンプルなケース学習を通じてホメオパシーの基本理論を深めて行きます。

4 年目は、3 年間で修めた基本をふまえて、複雑なケースにも対応できるように、ホメオパシーの理解を深め、実践力を身につけて行きます。既習レメディを別の角度からの理解も進めてゆきます。

※常時、実施している CHK 主催の入門セミナー及び基本講座へは自由にご参加頂けます。

1 年次の講義内容(およそ下記内容を学びます)

フィロソフィー(基本原理)(オルガノンの主な該当単元 = § 1～70)

ホメオパスの役割・使命。ホメオパシーとは何か？理想的治癒とは？

健康・病気・症状の関係(健康観)人はなぜ病むのか？治るのか？

類似の法則(個別化する療法)～アンチパシー(逆療法)。アロパシー(異種療法)との対比
プルービング(レメディのもつ治癒力を体感してみる)

レメディとは シングルレメディ・ミニマムドーズ(単一処方・最少投与の必然性)

ホメオパシー基本概念／感受性、ポラリティー、モダリティー、惹起要因、持続要因、SRP、
ヘリングの法則(治癒の法則)

急性病(流行病)への対処(風邪、怪我、痛み、胃腸の不調 等)

マテリアメディカに馴染む。レパートリーの使い方入門。CLAMS 的観方考え方。

基本レメディの学習 基本(急性)レメディを主体に 35 個程度を学びます。

4 年間で、重要レメディ 100 個程度を学びます。

※解剖・生理・病理症候学の基礎

8 月 11 日(祝)及び 2026 年 3 月 15 日(予定／合同授業)

以上です。